

# 公共建築ニュース

PUBLIC BUILDINGS MONTHLY

2017  
Vol.49  
No.588

# 12

今月の公共建築 ● 港南区総合庁舎	1
平成 29 年度 国土交通省国土技術研究会が開催	2
平成 29 年度 公共建築の日・公共建築月間記念行事報告	4
シリーズ ● 雨水利用・排水再利用設備を考える 第 6 回	8
シリーズ ● 銭湯ペンキ絵師つれづれ日記 (第 20 回)	10
情報ヘッドライン [平成 29 年 10 月 11 日～平成 29 年 11 月 10 日]	11
豆知識 ● 「文化芸術基本法」	11
協会だより ● 新刊情報/年末年始営業のご案内 ほか	12

## 今月の公共建築

# 港南区総合庁舎



南西側外観

所在地	神奈川県横浜市港南区港南四丁目 2 番 10 号
用途	区役所・消防署
事業者	横浜市市民局・消防局
設計者	(有)小泉アトリエ
構造(工法)	免震構造 地下: RC 造 地上: S 造、一部コンクリート充填鋼管構造、SRC 造
階数	地上 8 階/地下 1 階
敷地面積	5,077.61 m <sup>2</sup>
建築面積	2,812.55 m <sup>2</sup>
延床面積	17,334.25 m <sup>2</sup>
工期	平成 26 年 2 月～平成 29 年 2 月
施工者	建築 (1 工区): 渡辺・見上建設 JV (2 工区): 鹿島・谷津・中島建設 JV
電気	神奈川ケイテックノ・向洋電気土木・尾鈴電気建設 JV
空調	三沢・光電・エヌ・ケイ建設 JV
衛生	興信・岳南建設 JV
自家発電	(株)明電舎 昇降機 フジテック(株)
機械式駐車設備	横浜エレベータ(株)
外構	湘南建設(株) 緑化 (株)錦光園



西側外観



北東側  
歩行者用  
通路



1 階区民  
ホール

港南区総合庁舎は、区役所、消防署、福祉保健センターの機能が入る総合庁舎です。旧庁舎の耐震性能及び執務スペースが不足していたため、消防署とともに、移転建替再整備を行いました。

施設整備の基本方針として、「災害に強い安全・安心な総合庁舎」「省エネで地球環境に配慮した総合庁舎」「どのような方でも利用しやすい総合庁舎」「周辺環境や地域性に配慮した総合庁舎」を定め、整備を進めました。

「災害に強い安全・安心な総合庁舎」として、平成 23 年に発生した東日本大震災の教訓などを踏まえ、発災時には区災害対策本部として機能できるように免震構造を採用しています。また、万が一の浸水に備え、受変電設備、主要電気設備、サーバー等の基幹設備を上層階に設置し、緊

急排水槽を設置するなど、災害対策に万全を期しています。

「省エネで地球環境に配慮した総合庁舎」として、上層部には光を取り入れるための金属製ライトシェルフ、西面には、港南区の花であるひまわりの模様が透かされた日射遮蔽スクリーン、地下鉄トンネルからでてくる湧水と太陽熱を利用した空調熱源利用システム等を採用しています。こうした取組により、建物の環境性能を示す指標「CASBEE 横浜」で最高位の S ランクを取得しています。

「どのような方でも利用しやすい総合庁舎」として、利用者の多い窓口を低層階に集約し、区民サービスの向上を図っています。また、ユニバーサルデザインに配慮したトイレや授乳室、おむつ交換スペースなども設置しています。

「周辺環境や地域性に配慮した総合庁舎」として、周辺の緑と連続するように、敷地内歩行者通路と建物を緑化し、身近な緑を創っています。1 階区民ホールの天井には地域産の木材を使用し、温かみある空間としています。

外観的には、圧迫感を低減するため、上下と左右に分節化された外観が特徴的な建物とするとともに、低層部には隣接する建物の軒の高さに揃えたレンガタイルの大庇を設けて周辺環境との調和を図りました。

港南区は、2 年後の 2019 年には、「区制 50 周年」の大きな節目を迎えます。港南区を将来にわたり発展させ、区民の暮らしをしっかりと支えることのできる、災害に強く、機能的な総合庁舎となることを目指して整備しました。